

## 投稿規定

1. 本誌への投稿の筆頭著者は学会員に限る。
2. 投稿論文は、全体構造法に関する 1 症例の臨床研究を主とする**症例研究、その他研究論文、原著**とする。ただし、他紙に掲載・投稿されていないものに限る。本誌掲載後のすべての論文と資料の著作権は日本全体構造臨床言語学会に帰属するものとする。投稿に際して、投稿申込書と投稿内容が他誌に掲載・投稿されていないことを誓約する誓約書（投稿申込書内）を記入し、原稿とともに送付すること。
3. 1 例の詳細な臨床経過と考察が記載された本文と文献（A4 一枚 48 字×46 行、2208 字）で 10 枚以内、索引用 Key words は 5 項目以内、写真・図・表は 6 個以内とし、上記以外に、400 字以内の和文要約をつける。  
写真・図・表が増加した場合は、適宜原稿枚数を減じて調整すること。論文の長さは組み上がりで 6~8 枚であり、ページ数の増加は、編集委員会で認めた場合に限るが、その超過分の実費は著者負担となる場合もある。
4. 原稿はワードプロセッサで横書きとし、専門用語以外は常用漢字、現代かなづかいを用い、句読点（「。」と「、」を用いる）は正確に書くこと。外国語の固有名詞（人名、地名）は、原語のまま用いる。ただし、日本語化しているものはなるべくカタカナ表記とする。度量衡単位は CGS 単位（m、cm、g、mg 等）を用いる。また論文題名、各項目（例；1. はじめに）は全角 MS ゴシック体、本文は全角 MS 明朝体で入力し、算用数字・英字は半角で century とし、全て段組なしにて入力すること。
5. 表題・著者名・著者の所属機関、筆頭著者の所属機関所在地は、本誌の体裁にならって表記する。
6. 写真・図・表は、必ず表題（必要に応じて説明）をつけ、本文に挿入箇所を青色で指定すること。写真は原則として鮮明な白黒とする。なお、本文とは別紙（または別ファイル）にて送付すること。
7. 文献は本文に用いられたもののみあげ、アルファベット順に配置し本文中の引用箇所に 1) 2) と本文の文字と同じ大きさにし、赤色で番号を付ける。  
文献の書き方は下記の通りとし、雑誌の略名は Index Medicus に従う。略名が分からない場合は、省略せず書いておく。  
雑誌：著者氏名（3 名まで）：表題. 誌名, 巻数（号数）：引用ページ, 西暦刊行年.  
書籍：著者氏名（3 名まで）：表題. 書籍名, 編集者（3 名まで）, 発行社, 発行地, 引用ページ, 西暦発行年.  
例) 雑誌の場合：  
1) 道関京子, 門脇大地, 米本恭三：全体構造的言語治療（ヴェルボトナル体系）とその失語症治療への適応について. 聴能言語学研究, 12 : 1147-1156, 1995.

- 2) Jusczk PW, K.Hirsh-Pasek, DRMandel, et al. : Perception of acoustic correlates of major phrasal units by young infants. *Cognitive Psychology*, 24 : 252-293, 1992.

単行本の場合 :

- 3) Luria AR : *The working Brain*. Penguin Books, London, 37-40, 1981.  
4) 渡辺 実 : 陳述の機能. *国語文法論*, 塙書房, 東京, 91-151, 1971.

8. 原稿は、印刷原稿 1 部を簡易書留で下記編集委員会に郵送し、ワードまたはテキスト形式で保存したものをメール添付で編集委員会メールアドレス宛に送付すること。不採用の場合は速やかに返却するが、掲載原稿は返却しない。

**注 1) 症例の提示にあたって**

症例の提示にあたっては、症例報告における個人情報保護に関する指針を遵守すること。

**注 2) 審査制度**

投稿原稿は、2 名の匿名査読者が査読する。査読結果はそのつど編集委員経由で筆頭投稿者に返却される。投稿者の資質の向上を目指した査読であるため、査読の往来回数は制限しない。

注 3) 掲載は、査読結果を編集委員会の取決めに従い決定し、投稿者に通知する。

注 4) 著者校正は、原則として 1 度行う。

注 5) 著者に別刷 20 部までを贈呈する。それを超える分の費用は著者の負担とする。

注 6) 審査の判定基準は会員の臨床力に貢献できる論文であるかどうかの判断とする。

注 7) 本規定の変更は編集委員会の合意と理事会の承認によりできる。

送付先及びその他詳細や不明な点は編集委員会にお問い合わせ下さい。

JIST 学会編集委員会 E-mail : [henshu-top@jist.org](mailto:henshu-top@jist.org)

- 附則**
1. 2008 年 9 月 7 日より施行する。
  2. 2010 年 3 月 20 日改正
  3. 2014 年 5 月 24 日改正
  4. 2018 年 10 月 6 日改正

## 投稿申込書

『臨床言語研究－JIST Journal－』編集委員会 御中

私は「投稿規定」に従って、下記の通り『臨床言語研究－JIST Journal－』への投稿を申し込みます。

<b>A. 投稿原稿の表題:</b>		
(英 語)		
<b>B. 投稿原稿の種類</b>		
<input type="checkbox"/> 症例研究論文 <input type="checkbox"/> 原著論文 <input type="checkbox"/> その他研究論文		
<b>C. 投稿原稿の形式概要</b>		
C1. 原稿枚数(含引用文献): ワープロ用紙(48字×46行) (      )枚		
C2. 表・図・写真枚数: (      )枚		
<b>D. 投稿者の連絡先など</b>		
D1. 投稿者氏名	英語名	所属(英語)
D2. 筆頭投稿者所属先		
■ 所属機関名:		
■ 所属機関住所: 〒		
D3. 筆頭投稿者連絡先(上記に同じ場合は住所は未記入可)		
■ 連絡先住所: 〒		
■ 電話番号:		■ FAX 番号:
■ E-mail アドレス:		
申し込み日          年          月          日		

## 誓約書

投稿にあたり、上記原稿はその内容が他誌に掲載されたり、あるいは投稿していないことを誓約致します。また掲載後のすべての資料の著作権は日本全体構造臨床言語学会に属し、他誌への無断掲載はいたしません。	
著者 1,	2,
3,	4,
5,	

編集委員会使用欄 1. 受付年月日:          年          月          日  
 2. 受付整理番号(          )  
 3. 担当委員 (          )